

2025(令和7)年度 大阪府内地域連携プラットフォーム 事業計画(四半期ロードマップ)

※「会員大学」は大学コンソーシアム大阪会員大学を指す

課題	中期計画(2022～2026年度)	2025年度計画				
	目標	2025年度計画	4～6月	7～9月	10月～12月	1月～3月
課題1 大学と高校の 有機的な接続・連携の強化	(取組1) 高大連携フォーラム ・高大双方が高大接続の大きな環境変化に関する情報を共有している。 ・高大接続の諸問題を高校と大学が対等な立場で継続的に検討している。	・高大接続や大学教育の最新動向をテーマに開催し、教育現場の相互理解を深める。 ・ハイブリッド形式による柔軟な開催形態を継続する。	(6月) ・企画検討	(～8月) ・企画案確定 ・登壇者調整 (8月～) ・広報開始	(10月) ・フォーラム開催	(1月) ・検証、まとめ
	(取組2) 会員大学情報の発信 ・高校生のニーズが高い情報を厳選して会員大学から収集している。 ・高校生に届けやすい方法で会員大学情報を発信している。	・大学コンソーシアム大阪のホームページ等を活用し、高校生向け進路選択支援を強化する。	(4月) ・オープンキャンパス情報ページアップ ※年間を通じて提供 (5月) ・企画検討 (6月) ・共通大学案内ブックレット作成 ・高校生ニーズ調査実施	(7月) ・オンライン合同説明会 HPアップ ・ブックレット配布 (8月) ・高校生応援プロジェクト HPアップ (9月) ・高校生ニーズ調査 結果公表	※適宜HPの更新を行う	(1月) ・検証、まとめ
課題2 単位互換プログラムの さらなる充実	(取組1) 単位互換事業 ・センター科目と各大学が担当するオンキャンパス科目の役割やねらいが明確になっている。 ・各大学の強み、ネットワークを活かして「大阪の特徴・魅力」を総合的に学べる機会を提供している。	・万博・SDGsや地域に関連するテーマによる科目など、特色ある科目提供を拡充し、受講者増を目指す。 ・広域単位互換を通じた他地域の大学コンソーシアムとの連携強化を継続し、ネットワーク型の高度化を図る。	(4月) ・単位互換科目募集開始:全科目 ・前期科目開講 ・広域単位互換科目募集開始(春募集) (6月) ・募集状況の確認 ・追加募集(後期科目分)の検討	(7月) ・追加募集(後期科目一覽)HP公開 ・広域単位互換科目募集開始(夏募集) (8月) ・集中科目開講 ・追加募集(後期科目)開始 (9月) ・集中科目開講 ・後期科目開講	(10月) ・今年度事業の検証 (12月) ・単位互換事業説明会	(2月) ・次年度提供科目集約 ・リーフレット、HP更新 (3月) ・募集リーフレットを大学へ送付
課題3 キャリア教育プログラムの充実と 支援体制の強化	(取組1) 就業体験型インターンシップ ・参加した学生が社会人としての心構えや「働くこと」についての理解を深め、より高い意識で大学での知識・能力・技術の習得に励もうと考えている。 ・留学生、障がい学生、社会人学生など多様な学生と社会をつなぐ機会となっている。	・教育的意義を重視した就業体験を夏季に継続実施する。 ・新規受入機関の開拓と既存企業との連携深化を目指す。	(4月) ・募集リーフレットを大学へ送付 (5月) ・募集開始 (6月) ・面接・選考 ・事前研修	(8月～9月中旬) ・実習期間 (9月) ・事後研修	(11月) ・次年度事業の企画調整、準備 (12月～) ・報告書作成	(1月) ・次年度受入先募集開始 (3月) ・検証・まとめ
	(取組2) プロジェクト型インターンシップ ・参加した学生が現場での経験により、より高い意識で大学での知識・能力・技術の習得に励もうと考えている。 ・学生による提案内容が連携先企業をはじめ、社会的に評価・関心を高めている。	・低年次学生対象プログラム(取組3)に重点を置きつつ、PBL型としての展開が見込まれるテーマについては、プログラム化のうえ実施する。	※方向性に応じて適宜対応			
	(取組3) 低年次学生対象プログラム (旧オンラインプログラム、名称:就活クエスト) ・参集型では難しかった遠隔地や特殊な現場など、これまで知る機会がなかった仕事について、学生が具体的なイメージを持つことができる。 ・学生が、プログラムを通じて企業活動の意義とそこで働く人の役割の一端を理解している。	・キャリア形成の初期段階を支援するオンラインプログラムを充実させ、職業観・職業意識の醸成を図る。		(8月) ・企画検討・調整	(11月～年度末まで) ・第1～3回開催	(3月) ・中期計画 中間点検 ・検証、まとめ
	(取組4) キャリア支援事業 ・時宜に応じたキャリア支援の課題に産官学が連携して対応している。(就職に困難性のある学生に対する支援、学生の多様性に対する支援など) ・就職支援のための関連団体との連携が拡大し、充実した支援を実施している。	・大阪府と連携し、発達障がいグレーゾーンの学生支援をテーマとした研修を継続実施する。これにより、会員大学のキャリア担当教職員の専門性向上と、大学間の実践的連携の促進を図る。	(～5月) ・企画検討	(7月) ・大阪府共催 大学教職員向けセミナーの開催(第1回) ※以降、計2回開催予定 (9月～) ・分科会2開催(発達グレー学生就労支援策の検討)		(～3月) ・検証、まとめ

課題	中期計画(2022～2026年度)	2025年度計画				
	目標	2025年度計画	4～6月	7～9月	10月～12月	1月～3月
課題4 国際交流の活性化	(取組1)他国・他地域との国際交流事業 ・明確な目的をもって、国際交流事業を実施している。 ・さまざまな交流プログラムを検討・実施している。	・万博を契機とした海外大学等とのネットワーク拡大を図る。 ・会員大学の誘致ニーズに応じ、大学コンソーシアム大阪ホームページにおける外国人留学生向けPRページの充実等、広報機能の強化を進める。	(5月) ・企画検討 (6月～) 海外の各機関との連携対応(適宜)	(7月～) ・外国人留学生向け特設ページの情報収集 ・ページの整備 (9月) 留学生に向けた広報開始		(～3月) ・検証・まとめ
	(取組2)グローバル人材育成事業 ・日本の現状と課題を認識し、グローバルな社会課題の解決方策を考えるきっかけとなっている。 ・多文化共生・異文化理解、ソーシャル・インクルージョン(社会的包摂)という価値観を育む機会となっている。	・SDGsや万博に関するテーマに基づいた多様な形式の講座を通じて、学生の国際感覚と課題解決力を育む。 ・国際交流イベントを通じて国内学生と外国人留学生の交流機会創出に継続的に取り組む。	(5月) ・企画検討	(7月～) ・講座:企画・講師の調整	(10月～) ・国際交流イベント:学生運営メンバー募集、活動開始 (12月) ・講座開催	(～3月) ・イベント開催 ・検証・まとめ
	(取組3)学生英語プレゼンテーションコンテスト ・学生が発表に至るまでにグループワークを重ね、プレゼンテーションスキルを学ぶ機会となっている。 ・国際共通語としての「英語」を用いて、国際的な共通課題の解決策を斬新な発想で考え、意見交換する機会となっている。	・SDGsや万博を題材に、学生の英語による発信力を高めるコンテストを継続開催する。あわせて、学生自身が企画・運営に関与する体制を整え、主体性と実践力の育成を図る。	(5月) ・企画検討 (6月) ・発表者募集開始	(9月～) ・学生運営メンバー募集、活動開始	(10月) ・プレゼンコンテスト観覧者募集 ・企画の最終調整(～11月) (11月) ・コンテスト開催	(～3月) ・検証・まとめ
課題5 地域連携の促進による大阪・関西の活性化	(取組1)地域連携学生フォーラム in Osaka ・大学と行政・事業者等のコラボレーションが自発的に起こっている。 ・学生の提案事項や連携のノウハウが蓄積され、それらを大学コンソーシアム大阪の会員大学や自治体が共有している。 ・大阪・関西万博に向けて、学生がつながり、関わる場となっている。	・地域で活動する学生の実践知を共有する場としてフォーラムを継続開催する。 ・学生が企画・運営に携わりながら、フォーラムの成果の可視化と事後の自発的な交流や継続的な展開へとつながる機会の創出を図る。	(4月～) ・企画検討 ・学生運営メンバー募集開始 (5月～) ・学生運営メンバー活動開始 (6月) ・発表学生募集開始	(8月) ・学生発表者決定 (9月～) ・観覧者募集	(10月) ・フォーラム開催	(～3月) ・検証・まとめ
	(取組2)地域連携情報交流会 ・大学と行政・事業者等のコラボレーションが自発的に生まれている。	・大学と地域、産業界・行政の接点を生む情報交流会を通じ、ネットワークの深化とあらたな事業創出を促す。	(6月) ・企画検討	(～9月) ・企画案整理(テーマ決定)	(11月) ・サロン開催	(～3月) ・検証・まとめ
課題6 研修による大学教職員の資質向上とネットワーク強化 ※補足を3ページ目に記載	(取組1)各種研修事業 ・大学のニーズに応じた研修を実施している。 ・研修講師を担える人材の育成が図られている。	・会員大学の職員を主対象に、初任者・中堅・管理職といった職位ごとの実践的な研修を継続実施する。あわせて、大学間の情報共有やネットワーク形成を通じて、各大学の人材育成と組織力向上を図る。	(4月～) ID研修 オンデマンド配信(常設) (5月) ・企画検討 (6月) ・初任者SD研修(第1回)開催 ※以降、計2回開催	(9月) ・企画調整	(10月) ※以降、管理職者・中堅層SD研修を順次開催	(～3月) 検証・まとめ
	(取組2)サロンド・大学コンソーシアム大阪 ・参加者が主体的に情報交換や交流を行っている。	・会員大学の教職員を主対象に、大学の共通課題や関心事項に関する勉強会を継続開催し、実務に活かせる知見の共有を図る。 ・大学や分野、職位等を越えた交流を促進し、大学間の連携基盤を強化する。	(5月) ・企画検討	(7月～) ・サロン(第1回)開催 ※以降、計2回開催 (9月) ・企画調整		(～3月) 検証・まとめ

課題	中期計画(2022～2026年度)	2025年度計画				
	目標	2025年度計画	4～6月	7～9月	10月～12月	1月～3月
課題7 大阪の様々な課題に対応した取り組みの拡充	(取組1) 学生ボランティアの拡充 ・事業の企画運営に学生が主体的に関わる機会が創出されている。	・地域連携・国際交流など多様なテーマでの学生参加型事業を継続し、学生の社会参画意識の向上を図る。	(～5月) ・企画検討 (5月) ・新教イベント開催(ACT)	(7月～) ・適宜イベントを企画・開催		(～3月) ・検証、まとめ
	(取組2) 連携調査・研究の実施 ・大学間、また産官学の連携による調査や研究が恒常的に実施されている。。	・高校生の進学ニーズや新入生の薬物に関する意識調査などを通じて、会員大学の教育改善や学生支援に資する知見を収集・提供する。 ・「中期計画推進に係る提案型研究事業」については、実施状況を見直し、成果と課題の整理を行う。	(4～5月) ・薬物アンケート調査実施 (6月) ・高校生ニーズ調査実施	(～8月) ・薬物アンケートまとめ ※9月の共同IRの実施と連動 (8月) 以降、薬物意識調査に係る研究推進 (9月) ・高校生ニーズ調査結果公表		(～3月) ・検証、まとめ (3月) ・薬物意識調査に係る研究 報告書公表
	(取組3) 地域課題に対応した取り組みの推進 ・産官学連携による課題解決体制が整備されている。	・大阪府内地域連携プラットフォームによる公開講座や各種研修、社会人向けプログラム等を継続実施し、地域の学び直しニーズに応える。 ・会員大学の社会人向けプログラムを集約したポータルサイトの活用を通じ、情報発信と利便性の向上を図る。	(4月) ・大阪PF主催公開講座開催 (以降、複数回開催) ・大阪PF主催企画の検討 ・リカレントプログラムHP更新 (常時掲載)	(7月) ・大阪PF主催FD・SD研修開催 (以降、複数回開催)	(9月) ・共同IRの実施(薬物意識調査に基づく) ・上記にかかる結果をHPに公表 ・MOS資格取得講座開講(～11月まで)	(～3月まで) ・検証、まとめ
	(取組4) 大阪・関西万博との連携 ・万博への積極的な参画を通じて大阪・関西の活性化に寄与している。	・2025年大阪・関西万博を契機に、会員大学と地域が連携して得られた人的・知的資産を活用し、次世代育成や地域課題への対応につながる継続的な取組を検討・展開する。万博後も見据えた持続可能な連携体制の構築を目指す。	(4月～) ・万博協会との連携により周知・事業協力を適宜実施		(11月) ・当PFにおける万博関連事業の検証 ・今後の方向性の検討	(～3月まで) ・まとめ

「課題5 地域連携の促進による大阪・関西の活性化」の他の取組について、以下のとおり補足する。

■学生ボランティア事業: 会員大学の学生で構成するボランティアチームACTの活動を後方的に支援する取組を実施しており、今年度の事業計画のうち、「課題7 大阪の様々な課題に対応した取り組みの拡充」の「(取組1) 学生ボランティアの拡充」の中で取り扱う。

■キャリア教育支援事業(中学生向け): 南大阪地域大学コンソーシアムで行われていた取組を2024年度は試行的に実施。検証の結果、2025年度以降は、大阪市教育委員会との連携を視野に、教員研修や教育モデルの構築による教育支援について、今後の展開を適宜検討する。